

令和4年第2回（3月）筑紫野市議会定例会

【予算審査特別委員会 委員長報告】

議案第20号 令和4年度筑紫野市一般会計予算の件について、その審査の経過と結果をご報告いたします。

本特別委員会は、去る3月1日に設置され、同日委員会を開催し正副委員長の互選、審査日程の協議及び資料要求事項を決定しました。

まず、執行部から令和4年度予算は、令和3年度と比較して2.4%、約7億9000万円の増額予算となっており、増額の主な理由は、介護給付費や生活保護費などの扶助費の増加であるが、第六次総合計画に掲げる目標、社会情勢の変化、そして筑紫野市を取り巻く状況や昨年度の決算審査特別委員会の意見を踏まえながら予算の編成を行っている、との説明を受けました。

また、歳入歳出予算の総額をそれぞれ331億4200万円とする令和4年度予算の総括、歳入状況、目的別・性質別歳出状況、自主財源・依存財源の状況、増減する主な事業、新規事業など予算概要の説明を受けました。

次に、3月14日、15日に各課集中審査を行い、7部門26課から66項目にわたる詳細な説明を受け、各議員から予算審査資料に基づき第六次総合計画の5つの政策の推進に向けて編成された予算の内容・必要性など多様な観点から質疑を行い、活発な議論が行われました。

まず、行財政改革では、総務部、企画政策部、市民生活部所管の22項目の審査を行いました。そのうち、令和4年度予算編成方針に関して、経常収支比率が95%になる見込みだが、財政状況が健全であるといえるのか、との質疑があり、執行部からは年間を通して経常経費の見直し、財源確保の取り組みを行っているところであるが、経常収支比率のみならず財政力指数、基金の残高、起債の残高などのさまざまな財政指標を総合的に見て、一定の健全な財政状況であると考えている、との答弁がありました。

次に、産業・雇用をつくるでは、建設部、環境経済部所管の4項目の審査を行いました。そのうち、荒廃森林再生事業に関して、令和4年度は29ヘクタール間伐を行うということだが、今後の見通しは、との質疑があり、荒廃森林に該当する箇所が900ヘクタール残っており、特定調査を行いながら整備を進めていきたい、との答弁がありました。

次に、生活を守るでは、総務部、市民生活部、健康福祉部、建設部、環境経済部所管の12項目の審査を行いました。そのうち、緊急通報システム事業に関して、独居高齢者が年々増加しているなか、利用者数は減少している。周知の方法はどのように行っているのか、との質疑があり、執行部からは携帯電話の見守り機能などにより利用者が減少している状況だが、高齢者に限らず民生委員やケアマネージャーに対しても学習会等で事業の周知を図っている。また、ケアマネージャーに対して福祉事業のアンケートを実施し、利用促進につながっている、との答弁がありました。

次に、共助社会づくりでは、企画政策部、市民生活部、健康福祉部所管の4項目の審査を行いました。そのうち、筑紫野市災害時等要援護者支援事業に関して、登録者数を増やすためにどのような取り組みを行っているのか、また、データの活用方法は、との質疑があり、執行部からは出前講座の実施、コミュニティ学習会等への積極的な参加を通して制度の普及・推進に努めており、平常時の見守り活動や災害時の避難支援のために民生委員に適宜データを提供しているが、個人情報のため慎重に取り扱っている。今後はメールアドレスの登録を推進し、防災情報の提供等も行っていきたい、との答弁がありました。

最後に、未来をつくるでは、企画政策部、健康福祉部、教育部、建設部、環境経済部所管の24項目の審査を行いました。そのうち家庭児童相談事業に関して、パソコンの端末の整備を行い、オンラインでの相談体制にするべきではないか、との質疑があり、執行部からは、オンラインでの相談は有効な手段と考えるが、要保護児童や特定妊婦の方はさまざまな事情があるため、まずは信頼関係構築のために、実際に会って相談を受けたほうが好ましい家庭が多いと捉えており、まず会うこと、御家庭の中に入れていただくことを第一にして、それでも対応できないケースが多くなってきたときにはオンラインも検討することになるのではないかと考えている、との答弁がありました。

討論、採決を行う前に委員間討議を行い、各委員からさまざまな意見が出されました。教育環境の整備において計画されていた小中学校トイレ改修事業は令和4年度ですべて完了する予算となっており、子どもたちが快適に過ごせるようになることを評価したい、また、家庭児童相談事業において相談員の体制を3名から5名に増員し、相談指導業務を強化していることも評価したい、との意見がありました。

また、第六次総合計画の重点施策である待機児童の解消に向けて、令和4年度に小規模保育施設が2施設増設される予定であるが、まだ保育所の整備量が不足していると考えており、今後の課題にしていきたい、また、健全な財政状況を維持するために、コロナ禍や公共施設の再整備も見据えて財源の確保に努めていきたい、との意見がありました。これらの意見を踏まえ、令和4年度の予算の執行にあたっては、十分に配慮していただきたいと思います。

討論はなく採決の結果、全員一致にて、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。